

No. 1114

テスコガビー強し

第36回オークス

“荒れるオークス”のジंकス、単勝一番人気のテスコガビーが勝てるかどうか。第36回オークスは5月18日、10万余の観衆を集めた東京競馬場の芝コース、やや重の2.400メートルで行なわれました。

(実況録音)

タイム、2分30秒6 結局テスコガビーはゆうゆう逃げ切り2着にくだり込んだ伏兵リシアルトウシヨウに8馬身もの大差をつけ楽勝。菅原騎手は桜花賞、さつき賞に続いてオークスも制し、史上初のクラシック3連勝ジョッキーになりました。

駅前広場

所は埼玉県新所沢、時は午前4時、駅前広場にまだ人影はない。昨日置き捨てられた自転車がひとり寂しい朝を迎える。

一番乗りは新聞売りのおばさん、新聞を店先にならべ終るとそろそろ駅前広場はあわただしくなる。

地価があがればあがる程マイホームは駅から遠のき、会社への道のりは剣しくなる。かくて先を急ぐサラリーマンの自転車が広場を独占することとなる。「駅前広場は自転車置場ではありません」と警察は警告するけれど一日二千台もの自転車に広場を占領されては、看板も効果はない。

朝のラッシュが落ち着く頃、清掃車があたりを一巡広場を掃き清めて去る。雨の日も、風の日も、そしてカンカン照りの夏の日も、主人を待ちわびてじっと立ちつくす自転車。夕暮れ、メンコ遊びをしながらパパの帰りを待ちわびる子供たち。そしてまたくり返されるラッシュアワー。帰ってきたけれど、自転車の姿はすでになくあわてて警察へかけ込む人もある。酔ってわめいてお巡りさんのお世話になる人もある。

駅前広場の灯りが消える午前2時、今夜も帰らぬ主人を待ちわびる自転車が広場に残る。